

|      |           |     |       |
|------|-----------|-----|-------|
| タイトル | お客様の事を考えて | 事務局 | 206   |
| 学校名  | 酒田市立第六中学校 | 氏名  | 上野 稟治 |

僕は、株式会社 花鳥風月というラーメン屋さんに行きました。もともとラーメンが大好きで本当は職場体験なんかよりも、まかないの事ばかり考えていました。でも、そんな考えがひっくり返るような2日間になりました。1日目は、店舗ではなく、本社で働きました。一番最初に、麵の袋詰めをさせていただきました。スーパー等に売る冷凍ラーメンなので、具材の一つ、一つがとても冷たく大変でした。印象に残ったのは、商品の裏に商品番号をつけるのですが、商品の裏には、作り方だったり、賞味期限などが書いてあり、重なってもしょうがないかな~と思っていたら、本社の人「お客様が見えづらくなってしまうから、糸色文字に重ねてはダメです」とおっしゃっており、お客様の事を第一に考えている人だなと思いました。僕は、本社の人に言われるまで、売った責任は終ったかと思っていたが、それは間違っていて、お客様が買って、ちゃんと自分でつくらせて、おいしいと思ってくれたら、ほいめでそこで責任がなくなるんだと思いました。冷凍ラーメンの袋詰めが終わったら次は、麵打ちをしました。ベルトコンベアから麺が流れてきて、その麺についての打ち粉を落とし、麺をドム状にして箱にのせるという仕事です。それで、打ち粉をとるためにベルトコンベアのベルトに麺を打ちつけてとる時にはもう次の麺がきていてとても焦りました。そしてベルトコンベアの手を4から2に落としてもらって、やっとの思いでできました。そして最後に大人の本気を見せてもらいました。ベルトコンベアの手を上げて、なんと僕たちの4倍の手まで上げていました。それでもコツなどと言わずながらとても余裕そうな表情で、打ち粉を落としていました。天才というよりは達人という感じでした。毎日、毎日頑張って仕事をして達人までのほりつめたのかなと思いました。しっかり、速く、完璧に打ち粉を落としていて、これならお店のラーメンもおいしくなって文句は無いなと思いました。僕は仕事で何か一つの事を極める事なのかなと思いました。僕も将来仕事に就いたら自分の仕事を

すっかり極めたいと思いました。そしてまかないの時間がある間に来ておいきたいととても楽しかった1日目が終了しました。帰ってから、今まで気付かなかった疲れがドツときてその日は楽しかった事思い出して快眠しました。2日目は、不思議と疲れは残ってなく、気持ちよく店舗に向かいました。2日目は、実際にお店で接客をする日だったのでドキドキしていました。まず開店前にお店の掃除をしました。そこでびっくりしたのが、僕がいつも学校でしている掃除の2倍くらい丁寧にしている従業員さんの姿です。そんな隅々までという所もしては衝撃を受けました。それと同時にこれが社会の常識なのかと考えせられ、学校での掃除からしっかり社会に出るための練習をしようと思いました。そしていよいよ開店時間になり、朝とは思えないくらい行列が並んでいてすごい人気だと再確認しました。そして、2日間で一番印象に残った事が起きます。それは「水の置く場所」です。一見どうゆうことだと思ってもいいかもしれませんがとても大事な事を僕が学びました。例えば、机の角や端に水を置いた場合、誤ってぶつかって落としてお客さんかもしれない。そんな時、責任はお客様ではなくそこに置いた店側の責任になると言っていてそういう精神でお店をしているんだなと思いました。「これから美味しいラーメンを食べると思っていた時、水を床に落としてしまって、申し訳なくてラーメンを味わわずに帰られるかとても悲しいので、特に水の置く場所は端ではなく真ん中というも肝に銘じています」と言っていたのを聞いて少し意外でした。失礼ながらラーメン屋は、味しか自求していないと考えていました。もっと投げやりだと思っていた。でも、それは全然違いました。お客さんの事を考えてどうした、おいしいラーメンを食べに来てくれるかしっかり考え、お店を経営していました。商品番号をつける位置だったり、麺の打ち粉を落とす作業だとして、お客さんがどうしたらうちの美味しいラーメンを食べに来てくれるかしっかり考えていたんだなと思いました。これが衝動という事だとわかりました。今から、しっかり思考し、どうしたらいいか友達と対話をしたりして社会に出るまでの練習だと思い、元々張ると思わせてくれる、とても思い出に残る最高の職場体験でした。